

# 会 議 録

会議の名称	第4回 中野市公共拠点施設立地に係る検討会
日 時	平成25年10月2日(水) 16:00~16:55
会 場	市役所3階 31・32号会議室
出席者等	<p>委員：18名  原田孝男、小林貴三子、大内ふじ子、山上佳代、高木幹男、清水美鶴、  今井多恵子、佐藤初美、武田俊男、小林敏則、内藤とし子、  脇田綱雄、新家智裕、金井哲雄、竹内義明、小林泉、神田さつ希、北原康裕  (欠席者3名：岡村郁子、江口栄光、関紀子)</p> <p>【市】市長、副市長  総務部：部長、政策情報課長、財政課長、政策推進係長、担当  くらしと文化部：部長、文化スポーツ振興課長、文化スポーツ振興課長補佐  建設水道部：部長：都市計画課長、都市計画課長補佐 計13名</p> <p>傍聴者：13名  報道機関：6名  受託業者：3名</p>
次第	1 開 会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 前回会議終了後の意見について (資料4-1) (2) 立地及び整備手法の選定について ①市庁舎及び市民会館の整備について(案) (資料4-2) (3) 財政シミュレーションについて(資料4-3) 4 意見交換 5 その他 6 市長あいさつ 7 閉 会
資料	・会議次第、会議資料(資料4-1、4-2、4-3)、席次表
発言内容	別紙のとおり

会議状況



【別紙】

第4回 中野市公共拠点施設立地に係る検討会 会議録

平成25年10月2日(水)

16:00~16:55

市役所3階31・32号会議室

1. 開会(16:00)

小林貴三子 副座長	皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、これより第4回中野市公共拠点施設立地に係る検討会を開会いたします。 本日、岡村さん、江口さん、関さんの3名から欠席の連絡がありましたので、ご了解をお願いいたします。 それでは、初めに原田座長からご挨拶を申し上げます。
--------------	---

2. あいさつ

原田座長	本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。4回目を迎えて、本検討会、最後の検討会となる予定でございます。慎重審議、活発なご意見をいただく中で、有意義な会議となりますように、スムーズに進行しますようにまたご協力をお願いしたいと思います。これ以降、着座で進行させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。
------	--

3. 報告事項

(1) 前回会議終了後の意見について

原田座長	それでは、会議次第に従いまして進めていきたいと思ひます。初めに報告事項について、事務局から説明をお願いしたいと思います。
政策情報課長	それでは、報告事項をご説明申し上げます。着座のまま説明をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。 まず、報告事項(1)、前回会議終了後の意見についてご説明申し上げます。資料4-1をご覧くださいと思います。前回の会議以降、2名の方から質問、ご要望が寄せられました。今回は事前に資料を送付してございませんので、要点を申し上げます。 まず1点目でございますが、旧合併特例事業債はあと何年活用することができるのでしょうか。この制度があるうちに庁舎、文化ホールを建て替えたほうが得策と思ひますというご意見、ご要望がありました。これに対しまして、市とすれば、最初のポツでございますが、旧合併特例事業債は合併市町村が新市建設計画に基づいて行う事業に対して、合併年度と、これに続く15カ年度に限り利用できる地方債(借入金)です。対象事業費の95%に充当でき、元利償還金の70%が普通交付税によって措置される有利な制度です。現在、中野市の新市建設計画の計画年は平成27年度までとなっておりますが、平成32年度まで延長することで、今年度も含め、あと8年間活用することができますとい

	<p>うことで、これにつきましては合併してから 15 年間、それぞれの合併に必要な事業について、95%を起債、要は借金ができて、そのうちそれを償還するときにはその 70%を国がみてくれるという有利な起債が平成 32 年度まで延長することで利用することができるというものでございますので、ご了解をお願いしたいと思います。</p> <p>2 番目の質問につきましては、こちらは事務局のミスでございますので、またご覧をいただきたいと思ひます。</p> <p>(1) につきましては以上でございます。</p>
--	--

(2) 立地及び整備手法の選定について

(3) 財政シミュレーションについて

原田座長	<p>それでは次に、(2) 立地及び整備手法の選定について、併せて (3) の財政シミュレーションについて説明をお願いしたいと思います。冒頭、池田市長さんから発言があるということでございますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
池田市長	<p>今日は大変忙しいところ、委員の皆さん、お集まりいただきましてありがとうございます。3 回の検討会を経まして、お集まりの委員の皆様のご意見を拝聴する中で、また私のこれまで市長に就任して以来ずっと思考をしていたことにはんすうする中で、どういった形がいいのかということで悩んでおったわけですけれども、この検討会を経まして一定の私の結論を見ることができましたのでご披露させていただきます。3 回の検討会では本当に貴重な意見、ありがとうございます。いただきましたご意見を真摯に受け止めて、私の思いの中とすり合わせまして、これからの市民の皆様の利便性、何よりも中野市の将来の発展を考え、展望して、総合的に、総合的という言葉の中にはいろいろな意味合いがございます。財政的なものもこれから説明がございしますが、判断いたしまして、立地及び整備手法案を決定いたしましたのでご報告申し上げます。</p> <p>市庁舎につきましては、今日この場、現庁舎敷地にこれを建て替えるということであたってまいりたいと思っております。また、市民会館につきましては、その内容等もございました。市民ホールなのか、市民会館なのか、いろいろな中身については今回はご議論をお願い申し上げませんでした。そういった関係のご意見も多々いただきました。市民会館につきましては、今後の発展性、それから市民の皆様々の活力、そうした場の展開の幅を考えまして、旧中野高校敷地に建て替えることといたしました。</p> <p>この案を市民説明会でお示しし、パブリックコメントを実施し、正式に決定してまいりたいと考えております。検討の経過、そこに至った考え等々につきましては、逐次ご説明申し上げますので、またございましたら、おっしゃっていただければと思ひますが、今回の検討会は、場所の決定ということでお願い申し上げます。そして、その手法は建て替えなのか耐震なのかということでお願ひしたつもりでございます。これをもって皆様に</p>

	<p>ご理解をいただいた上で、少しでも前に、新しい中野市の元気づくりということで、元気を作るということで一歩でも前進できればと思っております。細部につきましては事務局から説明させます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
原田座長	<p>それでは、ただいま市長さんから、立地及び整備手法について、市としての最適案をお示しいただきました。それでは、引き続き事務局から細部にわたって説明をお願いしたいと思います。</p>
政策情報課長	<p>それでは、私のほうから説明をいたします。資料 4-2 をお願いいたします。</p> <p>まず 1、整備の必要性についてでございますが、前回までの検討会でご説明してきましたとおり、両施設とも耐震性能が危ぶまれていることなど、さまざまな課題を抱えている中で、市庁舎については災害に備え、早急に整備する必要があること、また市民会館については市の都市像にふさわしい文化のまちづくりの拠点となる施設が必要であることから整備するものとしていたしました。</p> <p>2 の立地及び整備手法でございます。立地、これにつきましてはただいま市長から申し上げたとおり、市庁舎は現庁舎敷地に建て替える。市民会館については旧中野高校敷地に建て替えというところを最適案としたところでございます。</p> <p>立地場所の選定の理由といたしましては、現庁舎敷地に行政機能を集約した市庁舎を整備することで、市民の利便性の向上を図ることができ、これまでと同様に市街地の核となり得ると判断したものであります。</p> <p>また、旧中野高校敷地に文化振興の拠点となる市民会館を整備することで、歴史、文化、交流のゾーンとして地域の活性化を図ることができると判断したところでございます。</p> <p>次のページになります。整備手法につきましては、安全・安心、利便性・機能性、経済性等を考慮し、両施設とも建て替えを選定いたしました。建て替えることで防災性能を備え、安全・安心を確保することができ、ワンストップサービス、バリアフリー化による利便性の向上を図ることができると考えております。</p> <p>なお、今後の進め方につきましては、3、今後の進め方にありますように、市庁舎は防災重要拠点施設として早急に整備する必要があるため、優先して整備することとし、平成 29 年度の供用開始を目指すことといたしました。また、市民会館につきましては、都市像にふさわしい施設とするため、施設の内容、運営方法等を十分検討した後に整備に着手し、平成 32 年度中の供用開始を目指すことといたしました。</p> <p>次に 3 ページになりますが、今後のスケジュールといたしまして、市民説明会を 10 月 23 日、水曜日に市民会館 41 号会議室で、10 月 29 日、火曜日に豊田文化センターでそれぞれ午後 6 時 30 分から開催をいたします。また、併せてパブリックコメントを実施し、その後、正式に決定していきたいと考えております。</p>

	<p>以上、市庁舎及び市民会館の整備案についてご説明をいたしました。      続きまして、財政シミュレーションにつきまして、財政課長からご説明を申し上げます。</p>
<p>財政課長</p>	<p>それでは、(3) 財政シミュレーションについて、資料 4-3 に基づきまして説明させていただきます。座ったままで説明させていただきます。</p> <p>お手元の資料 4-3 の 1 ページをご覧くださいと思います。歳入歳出、ともに網掛けになっている部分がございますが、これにつきましては資料 4-3 の右上に書いてございますが、市庁舎、市民会館整備をした場合の財源、事業費が網掛けの部分にそれぞれ加算されているということでご了承をお願いしたいと思います。</p> <p>先ほど整備についてのところで説明がありましたが、今回の財政シミュレーションにおきましては、市庁舎の整備につきましては、平成 26 年度から平成 29 年度まで、市民会館の整備につきましては平成 29 年度から平成 32 年度まで、それぞれの事業を実施することとして計上してございますので、お願いしたいと思います。なお、そのほかにも、今後予定されております大型事業につきましては今回のシミュレーションに反映させて加味してございますので、それらの数値も入っているということでご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、項目ごとにそれぞれ主なものについての数値を説明させていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>まず歳入の関係でございますが、一番上の段に市税と書いてございますが、市税につきましては、この数字を見ていただければ、平成 25 年から平成 35 年までの 11 年間、数値的に計上してございますが、これにつきましては、人口が減少するというので、少子化になるということで、市民税の減額分、あるいは大きいものでいきますと 3 年に 1 回行われております固定資産の評価替え、それは減の部分でございますが、あと、増といたしまして、新幹線の開業に伴います固定資産の増額等、今できる範囲のことを加味いたしましてこの数値に反映させてございます。総体といたしましては、平成 25 年度におきましては、市税の欄でございますが、53 億 9,400 万でございますが、平成 35 年度の 49 億 2,000 万円と比較しますと約 4 億 7,000 万円減るということで推計してございます。</p> <p>次に、その下の譲与税・交付金等でございますが、これにつきましては、来年度からの消費税率の改正を見越した上で積算してございまして、消費税がその部分、税率が改正になりますと地方に配分される地方消費税交付金という項目があるのですが、その部分の跳ね返りの増額を見込んでございまして、平成 25 年度と平成 35 年度を比べていただきますと約 5 億円の増という見込みで試算してございます。これはあくまでも消費税率が上がった場合ということを想定しての増という試算をしてございます。</p> <p>次に、その下の地方交付税であります。これにつきましては、現在、合併に伴いまして合併算定替えによる交付税の加算交付となっております。これが</p>

約 6 億円ございまして、それが平成 32 年度をもってその加算がなくなるとい  
うことで、それらを考慮いたしまして平成 25 年度と比較いたしますと約 6 億  
円の減額ということで 35 年度は見込んでいた状況になってございます。

次に、1 つ飛ばしまして、国庫・県支出金の欄でございますが、これにつつま  
しては、国等の制度が毎年いろいろと変わるわけでございますが、ちょっと  
読めない部分もありますので、現行の制度が維持された場合ということで  
想定して積算をしております。なお、網掛けになっております平成 29 年度  
から 32 年度につつましては、市民会館の整備に伴いまして社会資本整備  
交付金、旧まちづくり交付金という名称でございますが、それらを加味いた  
しまして、その部分については増額ということで推計させていただいてござ  
います。

その下の繰入金でございますが、これにつつましても網掛けの部分ござい  
ますが、これにつつましては両施設の整備に伴いまして、公共施設等整備  
基金、この基金の繰入金を計上してございます。その網掛けの部分に計上し  
てございますので、若干額がかさんで大きくなってございます。

1 つ飛ばしまして、市債という欄でございますが、これにつつましては、網掛  
けの部分につつましてはそれぞれ市民会館、庁舎の整備に伴う有利な起債と  
いうことで、旧合併特例事業債等を積算いたしまして、それらを最大限使う  
ということで、それらの借入額をこの網掛けの部分に計上して推計してある  
数字となっております。

次に、歳出の欄をお願いします。まず人件費の欄でございますが、これに  
つつましては、あくまでも人数的な数字というのはまだ今後どうなるかわか  
らないということで、人数的にはそのままの職員数ということで、あくまで  
退職手当の増減、それらを考慮した上での試算ということで、若干  
上がったたり下がったりしておりますが、そういう推計になってございます。  
その下の扶助費でございますが、これにつつましては、内容につつましては  
児童手当、あるいは生活保護費、障害者の自立支援給付金等がこの中に含ま  
れますが、昨今の世の中の実情を反映いたしまして、あと、中野市の実績等  
を考慮いたしまして、若干の微増ということで増額を見込んで推計させてい  
ただいてございます。

次に、1 つ飛びまして、普通建設事業費の欄でございますが、平成 26 年度  
から平成 32 年度の部分について網掛けになってございますが、この部分に  
両施設の整備事業費ということで計上して、合算して推計してございます。  
なお、他にも大型事業等については、現時点で実施予定と思われるものにつ  
いてはそれぞれ加味してございますので、この中に含まれているということ  
でご了承をお願いしたいと思います。

1 つ飛びまして、補助費等の欄でございますが、これにつつましては、北信  
保健衛生施設組合、あるいは岳南広域消防組合等へのそれぞれ施設整備に  
伴う各団体への負担金、これらが出てきますので、それらを見通した上で  
考えられるものを考慮した数字で積算してございます。

次に、中段より下になりますが、基金の年度末残高をご覧いただきたいと思ひます。これにつきましては、主要 3 基金ということで、そこに書いてございますが、財政調整、減債、公共施設等整備基金、これを主要 3 基金と言っておりますが、平成 25 年度の合計で見ますと、73 億 8,300 万円という数字になってございます。それが、平成 35 年度では 39 億 8,400 万円という数字になってございますが、これが減る主な要因といたしましては、それぞれ施設整備に伴います、両施設の整備も含めまして、大型の施設等に伴います基金を取り崩しておりますので、その部分が減ってきてございます。

なお、一番下に合併振興と書かれておりますが、この合併振興基金という基金がございまして、これにつきましては、合併したことに伴いまして有利な基金ということで、合併に伴います市債を活用いたしまして、現在、13 億 3,700 万が積立になってございます。これらは今回のこのシミュレーションにおいてはそのまま確保するというので、平成 35 年度も同じ数字で、推移してございます。

その下の市債年度末残高でございまして、これにつきましては、平成 25 年度ですと 190 億 2,500 万円という数字になってございます。平成 35 年度が 154 億 700 万という数字になってございまして、約 36 億円ほど減ってきてございます。この減る要因でございまして、今回の庁舎、あるいは市民会館、大型事業等の整備事業に関わる市債を借り入れたとしても、現時点では償還する額のほうが大幅に大きいもので、借り入れよりも償還が上回るということで、残高は減っていく状況で捉えさせていただいております。

次に、下から 2 段目の実質公債費比率でございまして、これにつきましては、試算では、見ていただきますと同程度の比率で推移してございます。これはなぜそうなるかということでございますが、先ほどの市債残高の欄でも説明したとおり、新たに市債を借り入れても償還が終わるものが結構出てきますので、数字的にはあまり変わらないという試算になってございます。

次に、その下の将来負担比率でございまして、これにつきましては、平成 25 年と平成 35 年を比べていただきますと若干数値が上がってきてございます。これについても特に大きな問題になる数字ではございませんが、上がる要因といたしましては、一番は基金で、先ほどの基金年度末残高が、30 何億減るとい話をしましたが、その部分が減ることによって、将来負担比率のその部分がはねかえる要因になりますので、若干の数値は上がってきている状況でございます。

次の 2 ページ目をお願いしたいと思います。これにつきましては、指標等の推移ということで、それぞれ主要 3 基金年度末残高、市債年度末残高、実質公債費比率、将来負担比率をそれぞれグラフ化したものでございます。右上のところ凡例が出ておりますが、緑の部分でございまして、これは今回シミュレーションを行ったグラフでございます。市庁舎を早急に、その後市民会館を整備した場合ということで、今回のシミュレーションのグラフになってございます。赤の表示につきましては、市庁舎、市民会館を



	<p>並行して実施した場合のグラフになってございます。特にシミュレーションの表はございませんが、そういうシミュレーションをした場合のグラフになってございます。青の部分につきましては、市庁舎も市民会館も整備しないという場合でグラフ化したものでございますが、それぞれ共通ということでご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>これでいきますと、指標等から見ていただきますと、両施設を整備いたしましても、財政の健全運営は将来的にも維持できるものと考えておりますので、よろしくをお願いしたいと思います。</p> <p>なお、この指標等の資料の中には、先ほども説明いたしましたが、両施設の整備以外にも想定される大型事業を含んでの試算ということでご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>説明は以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
原田座長	<p>ただいま一括して説明がございました。報告事項について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いしたいと思います。</p>
金井委員	<p>金井です。質問ではありませんが、1つは立地及び整備手法、とてもこれはいいなと思っています。それから、それに関連して、市庁舎を早急に、その後市民会館を整備するという形、これもとてもいいなと思っています。公債費比率とか、その辺が低くできるということで、とても素晴らしいなと思っています。</p> <p>1つ気になるのは、各地で、それぞれ日本中で市庁舎とか文化ホールとか作っているときに、かなり価格が高騰してきて、資材費というんですか、材料費ですね。というわけで、その辺のところ、シミュレーションがありますが、これはどのぐらいでシミュレーションしているのか気になりまして、その辺まで見越してあるのかなのかということです。それが質問です。</p>
財政課長	<p>今の件でございますが、今回の両施設の整備に伴う額といたしましては、市庁舎につきましては26億8,000万円、市民会館につきましては23億円ということで、この数字が妥当かどうかということにつきましてですが、現時点ではこの数字で捉えさせていただきまして、これを1つの目安といたしまして、それで積算している状況でございます。ただ、これが実際にできるかできないか、高いか安いかという判断につきましては、今後また設計等、あるいは細部を詰めた上でということになります。この数字は、目安という数字で捉えていただければと思っております。</p>
金井委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
原田座長	<p>ほかにごございますか。</p> <p>それでは、ないようですので、次に進みたいと思います。</p>

#### 4. 意見交換

原田座長	次に意見交換ということで、過去 3 回行ってきましたが、本日もそういう意味では一人ずつそれぞれの思いを、立地がおよそ確定した状態の中でまたそれぞれ皆さんの思いもあるかと思しますので、それぞれお一人ずつご意見を伺いたいと思しますので、よろしくまたご協力をお願いしたいと思います。それでは、前回同様、順番に、大内さんから大変申し訳ないですが、お願いしたいと思います。
大内委員	大内ふじ子です。市長さんの決断を聞きましてホッとしたところでございます。私は最初からそのように考えていたものですから、本当にありがとうございますという気持ちでいっぱいでございます。以上です。
山上委員	山上です。前回の検討会のときに高木さんから市民会館のお話を聞いて、すごくショックでした。それはどうにかしなければいけないなと思っていましたので、建て替えに決定したことにすごく嬉しく思っています。今回このような会議に参加させていただいて、すごくいい経験をさせていただいてありがとうございました。以上です。
高木委員	社協の高木でございます。第 3 回のときにいろいろ申し上げまして、大体その線に沿ってここでまとめてございます。ぜひこの線で進めていただければと思いますので、よろしくお願いたします。以上でございます。
清水委員	保健補導委員会の清水です。財政シミュレーションが詳しく書かれていて大変わかりやすかったです。ぜひ立派な建物ができて、市民が潤うようにしてほしいと願っております。ありがとうございました。
今井委員	今井です。お世話さまです。今までのことを報道で見た人たちが何人か、私がこの委員になっていることは知らないで、何で市民会館は向こうのほうがいいとか、新聞にそういうことを言った委員がいっぱいいるけれど、何でだろう。何で今のままやらないだろうとか、いくつかの意見というか、声が耳に入ってきたのですが、そういう方たちも、字だけで追うとどうしてだろうとなると思うのですが、これから説明会とかパブリックコメントとか取りながら、市民の方たちが納得できるような説明会を開催していただければと思っています。 私個人としては、先ほど市長さんが内容とかそういうことはこれからだとおっしゃいましたので、そういうことに大いに期待していきたいと思つた。どうもありがとうございました。
佐藤委員	農協女性部の佐藤です。私もこの案には決定していただいてとてもよかったです。そしてまた、これからいろいろ決めていってできると思つたんですが、ほかの市民、そしてみんなが本当によかったなと思うようなふうになってほしいと思つた。文化会館、市民会館もちょっと離れてしまうんですけど、あの辺は色々、前にもいろいろ意見が出たように、文化交流にはとてもいい場所だと思うので、あそこを拠点に、本当にもっと中野市のそういったものがいろいろな意味で発展していけるようお願いしたいと思つた。

	<p>思います。本当にこの会議に参加させていただいてとても勉強になりました。ありがとうございました。</p>
武田委員	<p>武田です。この会に出させていただいたことに大変勉強になったし、感謝申し上げます。是非、いい中野市ができるというふうに思います。ありがとうございました。</p>
小林敏則委員	<p>中野青年会議所の小林です。私も参加させていただいて大変勉強になりました。ありがとうございました。今後は、ハード面、ソフト面ということから検討されると思いますが、ぜひ明るい豊かな社会、明るい豊かな中野市を実現できるよう頑張っていたいただければと思っております。本当にありがとうございました。</p>
内藤委員	<p>農村女性活動推進委員の内藤です。こういう何か決めるということが本当に私たちのような一般の市民にお声掛けをしていただきまして、こういう声を聞いていただいたという、そういう市長さんの姿勢に本当に感激いたしました。これからもどうぞみんなの声を吸い上げていただきまして、本当にこの会議が、本当に中野市が感動とか、幸せとか、いっぱい感じて生きていけるような、そういう中野市を目指す地道な一歩としていただきたいと思います。本当にありがとうございました。</p>
脇田委員	<p>観光協会の脇田でございます。私も本当に参加して大変よかったと思っている次第でございます。市長さんがテレビ等で確たる自信がないと。立地に対して確たる自信がないと申しておりましたが、本日、市長さんから自信を持って発表していただいたことでございますので、それなりに進めていただきたいと思います。</p> <p>また、市庁舎は日曜とか祝日が休みでございます。そんなわけで、今は市民会館、市庁舎、一緒にあるわけですが、今度は日曜、祭日は市庁舎が休みでございますので、今度は市民会館が中野高校跡地ということでございますので、まちなかで歩く人たちが、日曜、祭日が、ちょっと寂しくなるのではないかなと思った次第です。いろいろありがとうございました。</p>
金井委員	<p>金井です。私も本当に今回、貴重な経験をさせていただいてありがたかったなと思っています。また、今回の結論も、委員の皆さんがいろいろご意見を出して、いい方向でまとまってよかったなと思っています。財政シミュレーションもよくできていますし、平成 32 年度まで延長して市庁舎のほうと市民会館をずらしてやるというのもとてもいろいろな面でいいかなと思っています。</p> <p>ただ、これから内容について、今後また検討していくというお話ですが、私も委員の皆さんそれぞれのお立場でいらっしゃって、いろいろな意見を出していただいて、またその内容について検討する場でそういうことも取り上げられると思いますが、ぜひここで出た意見も引き続いて検討する内容にいただければとてもいいかなと思っています。どうもありがとうございました。</p>

竹内委員	<p>公募委員の竹内でございます。公募委員として参加をさせていただいて大変ありがたく勉強をさせていただいたわけであります。</p> <p>市長さんの最終的な結論をこのような形で出していただいで、大変ありがたく思っております。</p> <p>ただ、2点ほどお願いできればなと思っております。先般、中野市の地方紙でありますけれども、9月市議会の中で大半の議員さん方が中野市庁舎と市民ホールについて市長さんに質問をされていることが多かったわけであります。またこれもいろいろな質問があったわけでありますけれども、特に情報だけのことで判読をいたしますと、中野市の将来的な財政面を当然議員さん方は配慮されながらの適地の市庁舎、市民会館について質問をされているだろうと思っております。いろいろな質問のところにおきましても納得する部分はあるわけでありますが、これからパブリックコメント等を含めながら、またこのような形でぜひ力強くこの2つの建設に邁進をしていただければと、こんなふうに思っております。</p> <p>それから2点目でありますけれども、私は中野高校、中野実校という2つの卒業生の関係のお手伝いをしている関係上、中野高校の敷地の跡でございます。今現在、プール、体育館、そのところが更地になったわけでありますが、今後、市民会館が32年度供用としてどこに建つかということはちょっとわかりませんが、あそこの校舎がそのまま向こう8年間、中野市民並びに中野高校の卒業生がどのような形で、手をつけられない状態でそのままになってしまうということはちょっと、今後中野市に移管されたわけでありますが、ぜひ中野市の発展のために、先ほど財政課長がおっしゃられました大型事業の中にそういう部分が含まれているのか。先ほどの財政のシミュレーションの中に網掛けはすべて中野市庁舎と会館のことについて将来的なシミュレーションをされていますが、何か中野高校のあの跡のところがこの中に、財政的なところが加味されていればなと、こんな大きな期待を持ちながら検討会に参加させていただいたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。</p>
小林泉委員	<p>公募委員の小林です。検討会の公募に応募したところ、運よく仲間に入れさせていただきまして本当にありがとうございました。4回の会議は非常に内容の濃いものだったと思います。各セクションの代表の方々の生の声をお聞きしまして、やっぱり人はいろんなことを考えているんだなとつくづくそういう感慨深く意見を聞かせていただきました。</p> <p>先ほど市長さんから、市庁舎、それから市民会館についての力強いお言葉をいただきまして、私は本当に喜んでおります。市民会館に関して言いますと、着工までに足かけ4年間あるわけですね。市民会館のソフトの部分に関しては、この検討会のようなもの、市民会館をいかにいいものを作るかという、そういうための検討委員会みたいなものをぜひ立ち上げていただきたいと思っています。一旦作ると、また長いこと作り直すということではできません。ぜひそういうことを要望して、感謝の言葉とお願いを申し上げます。</p>

<p>新家委員</p>	<p>北信建設事務所の新家です。今回、立地及び整備手法という形でお示しをいただきまして、一番妥当な落ち着いたところかなと思っております。特に防災機能はやはり拠点として市の庁舎というのは今後考えていかなければならないという中では、この場所で市民が訪れて、市民の安全の確保はもとより、市民が安心して暮らせる防災拠点が必要でございますので、ここに市の庁舎を整備する、建て替えという形は、駐車スペース等も当然避難場所になりますので、スペースは十分広いほうがいいのではないかと思います。</p> <p>また、市民会館を旧中野高校敷地のほうへ建て替えということでございますが、行政機能からはじまって、商業機能、それぞれそれほど遠くない機関でございます。これからの中野市の賑わい、また文化かおるまちづくりに大変寄与できるのではないかと期待をしております。</p> <p>今後、市民の皆さん方に2回ほど説明会を開くということでございますが、2回と限らず、丁寧な市民への説明会というのは必要かなと思います。また、パブコメですが、行政機関としましてはパブコメは非常にはやっておりますけれども、最近はパブコメの件数が非常に少ない状況が続いております。それぞれ案件によって違うかもしれません。ですので、その辺はパブコメもいろいろ工夫していただきながら、市民の皆さん方から多くパブコメをいただけるような形の中で工夫していただければなというお願いも含めて意見を言わせていただきました。ありがとうございました。</p>
<p>神田委員</p>	<p>この会議に出られてすごくいい勉強になったなと思いました。なかなかない機会なので、高校生で出られたことを、あまり力になれなかったのですが、すごくいい勉強になりました。これからここがどんな風が変わっていくか楽しみだなと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>北原委員</p>	<p>前回の検討会で、耐震より建て替えのほうがよいという発言をさせていただいたのですが、今回、市長さんのほうから意見を発表していただいて、自分の中でも建て替えがいいと思っていたので、すごいよかったですと思います。</p> <p>意見交換という場を設けていただいて、今回高校生として参加させていただいたのですが、僕たち高校生の意見もしっかり取り入れていただいて、本当にいい経験になりました。ありがとうございました。</p>
<p>小林貴三子 副座長</p>	<p>男女共同参画の小林です。私もこの会に参加させていただきまして、中野市のことをしっかりと考えるようになったということはとても感謝しております。当初からの私の考え方を取り上げていただいて、市長さんもこれを裏切らないように、これから着実に計画を立てていってほしいと思います。この間も年寄りと話をしたのですが、新幹線が通る、オリンピックが来る、中野市庁舎、また文化ホールができる、長生きしなくちゃなということをおっしゃっていました。7年後に文化ホールができるということですので、二重の喜びがまた待っていると思いますので、大きな期待を持っております。</p>
<p>原田座長</p>	<p>お世話さまでございました。ありがとうございました。私も今皆さんそれぞれの思いと全く同じ思いでございます。ただ、近隣の中では長野市と、この間新聞を見たときに、飯山だったかな、なかなか入札が成立しないという</p>

	<p>お話も聞いておりますので、そんなことで今日示していただいた完成年度が遅れることのないように順調に事を運んでいただければありがたいと思っています。</p> <p>また、市役所もそうですし、市民会館も、特に市民会館の場合はもうちょっと向こうということでございますので、アクセスの道路も含めて、それぞれ周辺の利便性等、さまざまな環境整備も併せてこれからやっていただけるものかなと期待をしながら、本当に4回の検討会にご協力いただいたことに感謝を申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、それぞれご意見をいただけたかと思えます。ありがとうございました。また、これからはもう1段階上の建設委員会、名称はわかりませんが、そのような場の中でまた建物の内容については協議されていこうと思えますが、この検討会の中でもそれぞれ皆さん、市民会館のあり方、市役所のあり方等、ご意見がございました。そんなことも踏まえてこれから検討していただけたらありがたいと思っています。本当にありがとうございました。</p>
--	---

## 6. 市長あいさつ

原田座長	<p>それでは、今の内容などから、改めて市長さんからご意見をいただきたいと思えます。お願いします。</p>
池田市長	<p>まず、改めまして今回の検討会、本当にお忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございました。</p> <p>振り返ってみますと、皆様の意見を聞くということで、なかなか私の思いを直接お伝えする機会がなかったかと思えます。先ほども申し上げましたが、今回は長年にわたってどこに建てるかということで、市内、市民の皆様の間でいろいろなご議論があったということをごどのように集約するかということで、まずは単刀直入に皆様に、位置と、建て替えをするのか、耐震にするのかということをお聞きしたかった。実は先ほど来いろいろご意見を賜りましたとおり、中身についてはこれから考えてまいります。例えば先ほど中野高校の校舎をどうするのかという話も、7年間放っておくのかという話もございました。当然放っておくようなことはしたくないと思っておりますし、何か活用ができるものであれば活用を進めたいと思えます。ただ、市民会館、通常の市民の皆様、私もそういった感情で生きたこともございますが、すれば、市庁舎を先に建てて、市民会館を後にするのはどうなんだという意見もあろうかと思えます。しかし、今回は中野市の財政負担を考慮し、また必要なものから先に建てていく。そして、今お話にございましたように、市庁舎のことを進めると同時に、並行して市民会館のあり方、その機能、それからどういった使い方をするのか、どういった使用方法があるのか。委員の北原さんがかつてこの検討会で、市民会館の前を通るといつも使われていないということがございましたが、中野市として特徴のあるものを</p>

作っていききたいという思いがあります。ただ、これも私一人、個人が考えることではなくて、今日、議員の皆様もいらっしゃいます。検討を加えて、その使い方が妥当なのか、いいのか、将来にわたって活力ある場となるのかどうかということで、そういったもろもろのことをすべてテーブルに乗せて話し合う中で、市民が一緒になってこの中野市の拠点となる施設を作っていききたいと思っております。もちろんのこと、市庁舎だけが、それから市民会館だけが中野市のインフラではありません。当然のことながら、最近こんなご意見もいただきました。コンパクトシティという考え方に対して、今回の考えはどうなのかということなのですが、これもどういったものをコンビネーションさせるのか、関連づけるのか。どういった形で人流、人に歩いていただくのか。今脇田委員さんからもお話がございました。土日のまちの人波がなくなってしまうのではないかと。これはこれだけの問題ではなくて、ほかの策も、また複合的に対処する方法があると思っております。これも実は今日ご参集の皆様のお考えの中にいろいろなアイデアがあるはずなんです。それを私、ないしはそういった場を設けまして、公開の議論としつつ、どのように中野市を元気にするかということを考えていきたい。

おかげさまをもちまして、これでやっと中野市の、これから本当の意味で市役所内、それから議会、そして市民の皆様と一緒に話をする中で、これを作り上げていかなければならない。まさに今日がキックオフだと思っております。そんな意味で、ご指摘いただきましたパブリックコメント、ここに至る経過、なぜそう考えたのか。市長の頭の中には何かあるんだというようなこともご披露したいわけですが、それを今披露しますと、それだけが一人走りして走って行ってしまいます。そういうわけではなくて、私の考えを持ちつつ、皆様の意見とすり合わせる中でよいものを作っていく。過程を大事にしていきたいと思っております。

今いただいたご意見は、これも大切に、私の心の中で肝に銘じて、これからのまちづくり、そしてその拠点づくりについて取り組んでまいり所存でございますので、一つどうぞご支援のほど、またご協力のほど、また気軽に、私が市長になったからと言っても、1年前は1市民でございます。そんな立派な人間でもございません。皆様と同じ目線で、とにかく中野市をよくしたい。先ほど新幹線の話が出ました。今、周辺諸都市では新幹線開業に向けていろいろな形での対策、対応を考えています。やらなければいけない、中野市として、この中野市が1個の地方都市として、またその中心都市として、これからも存在価値をしっかりと持ってあり続けるためにも、やはり皆さんの力が大切だと私は思っておりますので、一緒になってこれからぜひ中野市をよくするためにご協力、または知恵の出し合いをしていただければ誠にありがたいと思っております。

今後は、今日お示し申し上げました案につきましては、先ほど来申し上げておりますが、丁寧に市民の皆様にご理解いただけるよう説明してまいりたいと思っております。また機会がございましたら、検討会、どんなものを作る

	<p>か、それはどういう会合、形を取るか、どういった会議の位置づけにするかにつきましては庁内で検討しまして、皆様にご提示し、1 つでも 2 つでも、1 歩でも 2 歩でも先に進むよう努力してまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>最後になりますが、これまでの皆様の検討会へのご参加に対し、改めて御礼申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
原田座長	ありがとうございました。

#### 5. その他

原田座長	それでは、最後の検討会ということで、最後に事務局のほうで何かございましたらお願いします。
政策情報課長	特にございません。
原田座長	ありがとうございました。

#### 7. 閉会 (16 : 55)

小林貴三子 副座長	<p>それでは皆様、長期にわたりまして、暑い中、大変ご苦労さまでございました。これにて第 4 回中野市公共拠点施設立地に係る検討会を閉会といたします。お疲れ様でした。</p>
--------------	---